

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
(沼隈支所3階)
TEL 980-7713
FAX 987-2382

E-mail: nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ ([URL:http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/](http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/)) から「あしだかわ」で検索!

《センター人権・社会教育活動事業 報告》

いまここにある差別の現実を変えたい! いのち輝いて生きる

12月7日(金)瀬戸コミュニティセンターにおいて、坂田かおりさんを講師に迎え、人権問題講演会を実施しました。坂田さんは、20年前に娘を産んだときのお話を軸に、現在も残る差別の現実、さらに、命を輝かせて生きることの大切さについて講演されました。



娘を産むまでは、差別を恐れず、堂々と部落差別と闘っていた坂田さん。しかし、娘を産んだそのときから「娘が差別されたら…」「部落出身ということを隠して生きたい」と考えるようになりまし。しかし坂田さんは、同僚の差別発言により、再び部落差別と闘うようになりました。そして、2人の娘たちにも自分が被差別

部落出身だということを告げました。その事実を受け入れられない長女とさまざまな議論をしました。しかし、なぜそんな議論をしなくてはならないのか。それは、まだまだ部落差別が残っている



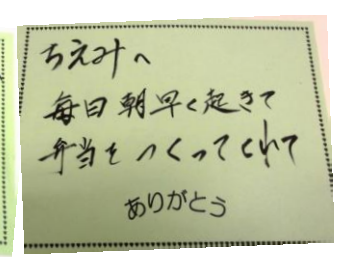
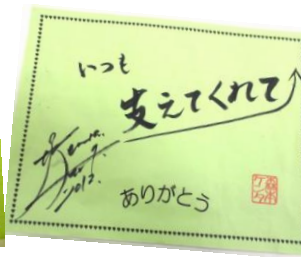
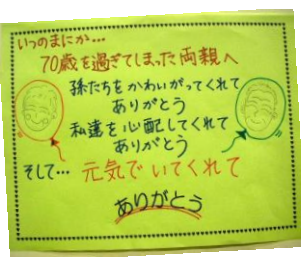
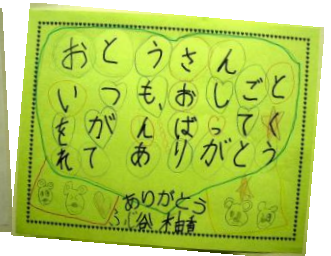
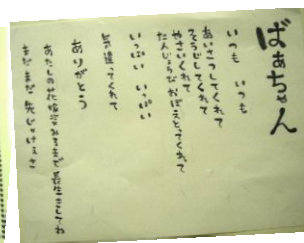
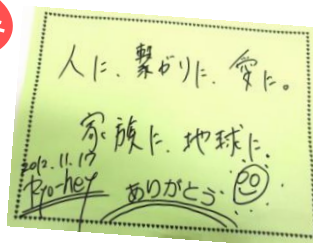
という現実があるからです。そのことに気づき、2人の娘さんと坂田さんは、親子で部落差別と闘うようになりました。坂田さんは、部落差別と堂々と向き合う娘たちの姿を見て、勇気付けられ、また、今ここにある命を輝かせることの大切さを実感したと語られました。

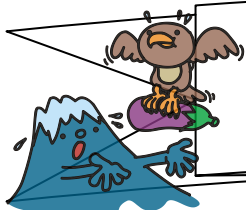
今なお根強く残る部落差別と堂々と向き合う坂田さんの姿に、今ある命を輝かせるとはどういうことか、そのことを考えさせられる講演でした。

言いそびれた「ありがとう」展

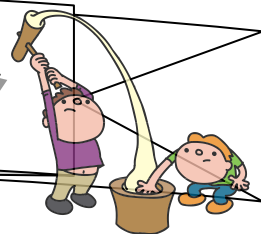
報告

11月19日(月)~12月2日(日)の間、沼隈図書館常設展示室において、『言いそびれた「ありがとう」展』を開催しました。多くのみなさんの、大切な人に宛てた「ありがとう」の言葉に、心が温まりました。





南部こんなんやるday



南部管内の講座のご案内です。みなさま どうぞ ご参加ください。

瀬戸公民館 TEL: 951-1003

わくわく土曜クラブ
「とんどのルーツをさぐろう！」
～書初め、天まで届け！～

と き 1月12日(土)
10:00～11:30

と ころ 瀬戸小学校グラウンド

内 容 お正月のしめ飾りや書初めを燃やし、無病息災を願います。

ぜんざい代 100円

申し込みは
瀬戸公民館まで
お願いします！



赤坂公民館 TEL: 951-1001

色の力でいきいき生活
～色の力を知って、活用しよう～

と き 1月22日(火)
13:30～(約1時間30分)

と ころ 赤坂公民館

内 容 色の力でいきいきになれるようなお話
色の力の活用法

講 師 楠本 きみ子さん
(カラー&イメージコンサルタント)

参加費 無料

持参物 メモ帳 筆記用具



☆参加人数把握のため事前申込をお願いします。

沼隈図書館 TEL: 987-0313



「ニューイヤーコンサート」

と き 1月27日(日)
11:00～12:00

内 容 サンパルオーケストラによるこどもからおとなまで楽しめるコンサート
曲目: タイタニック, メモリー, 篤姫,
サウンド・オブ・ミュージック 他

対 象 どなたでも

おはなし会
「新春ふくふくお楽しみ会」

と き 1月12日(土)
14:00～15:00

内 容 干支(巳)にちなんだ絵本の読み聞かせ、カルタとり(山本瀧之助の常識カルタ)など

対 象 小学生



☆どちらも沼隈図書館にて、無料で行われます。



生きている 生きてゆく

～東日本大震災ビッグパレットふくしま避難所が教えてくれたこと～

と き 1月30日 (水) 19:00～20:30

ところ 福山市東部市民センター

講師 ^{あまの}天野 ^{かずひこ}和彦 さん

元ビッグパレットふくしま避難所県運営支援チーム責任者
福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター特認准教授

定員 400人 [手話通訳・要約筆記があります]

問合せ 東部生涯学習センター (TEL: 940-2574)

主催 福山市市民局まちづくり推進部人権推進課



参加費無料

福山市鞆の浦歴史民俗資料館
第24回新春企画展



雛祭

ひなまつり

会期 2013年2月7日(木)～3月17日(日)
9:00～17:00

※休館日 2/12(火), 18(月), 25(月), 3/11(月)

会場 鞆の浦歴史民俗資料館
(鞆町後地 536 番地 1)

入館料 一般 150円 (高校生までは無料)

問合せ 鞆の浦歴史民俗資料館
084-982-1121



鞆・町並ひな祭

会期 2013年2月23日(土)～3月17日(日)

会場 鞆町内一円

問合せ 鞆の浦歴史民俗資料館 (事務局)
080-5614-2778

主催 鞆・町並ひな祭実行委員会

交通案内

路線バス 鞆鉄バス福山駅前より、「鞆の浦」下車
(15分間隔で運行。所要時間約30分)
ひな飾りボンネットバス (運行日は会期中の土・日)
福山駅前発... 9:05・10:50・12:20・14:35
鞆の浦発... 10:00・11:30・13:45・16:00



有料駐車場には限りがあります。(無料Pなし)
公共交通機関をご利用ください。

青年の父 山本瀧之助の足跡を訪ねて

【18】『模範日』・『早起』を出版

『一日一善』を日常生活に定着できるよう、1914年（大正3年）『一日一善日記』を、1916年（大正5年）『実践一日一善講話』を出版した。また、1915年（大正4年）には、瀧之助の経験を語った『青年修養着手の個所』を著わした。青年が自己修養にどこから着手すべきかを理論ではなく身近な実例をあげて書いている。

瀧之助は、さらに自己を高めるための実践的な本を書き続けた。1917年（大正6年）『模範日』を、1918年（大正7年）には『早起』を出版した。『模範日』とは、「一と月の中で予め自分で日を定め、その日を最も理想的で最も充実した日にしよう。」というもので、大変な決意と努力を要するが、これを身につけると大きく成長できるものであった。『早起』は3つの意義があるとし、「時間の開墾」（1時間の早起は1年で45日間を生み出す）「1日を充実させる」「その質を善くする」としている。また、エジソンや吉田松蔭など古今東西の賢人が残した早起に関することばや教訓な

どを紹介したり、各地の早起会の紹介をするなどさまざまな早起に関する情報を紹介している。『早起』は1万部を越えるベストセラーとなった。その後、『団体訓練』『少年団研究』『処女会の育成』『幹部の修養』『我が家の愛称』と次々と発刊した。



『模範日』



『早起』



『少年団研究』

執筆：上田 靖士（山本瀧之助研究会）

第3回ローズパーティー 作品募集!

今年もローズパーティーを開催し、ばらにちなんだ作品を募集します。手芸品や写真、絵画や彫刻など、何でも結構です。生花のない季節、ばらを愛でるひとときにご協力ください。



募集期間 2013年1月7日（月）
～2月18日（月）
と き 2013年3月2日（土）、3日（日）
10:00～16:00
と ころ 沼隈図書館2階市民ギャラリー
申込み・問合せは、南部生涯学習センター
（TEL：980-7713）まで!

ポ～ノさんのせせやき

新しい年がはじまりました。年のはじめに届く年賀状は、どこか嬉しいものです。青年団の生みの親・山本瀧之助は、全国の青年に宛てて1年間に5千通の手紙を出したと言われています。そして、瀧之助の手紙には、必ず励ましの言葉が添えられていたそうです。全国の青年たちは、その直筆の言葉に勇気付けられました。手紙には、現代の電子メールにはない力があるような気がします。1年に1度、遠く離れた親戚や、長い間会っていない友人のことを思いながら書く年賀状の文化は、いつまでも大切にしたいものですね。

